

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

保険者名 小布施町

1	タイトル	高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進
2	現状と課題	
	(1) 「通いの場」の推進	
	町内8カ所で住民主体のサロンを開催。交流や会話を楽しむだけではなく、体操や講座等内容に関する相談に応じながら開催の支援をしている。立ち上げ当初からの参加者が高齢化しており、開催回数を増やしていくことが難しい現状。新規参加者が増えない、新規地区の立ち上げが進まない等の課題がある。	
	(2) 介護予防の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のサービスの活動が進む中、利用者の増加に対応していくことや継続のためには担い手の確保が課題となっている。 ・介護予防事業は、ポイント制度の活用、広報等を使用した周知、訪問等での勧誘を実施しているが、新規参加者が増えない事業があり、事業の在り方や繋ぎ方等に再考が必要である。 	
3	第9期における具体的な取組	
	(1) 「通いの場」の推進	
	「お茶のみサロン」等高齢者が地域で参加できる活動の充実を図り、既団体の活動の継続支援、新たな活動の立ち上げのための後方支援を行う。	
	(2) 介護予防の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のサービス活動が推進されるよう、活動中の団体の後方支援を行う。 ・認知症の予防、心身機能の低下予防等に資する介護予防事業は、ポイント制度を活用しながら推進していく。また、国から提供された各データを分析し、教室等の参加が健康の維持・向上につながっているか検証を行い、自立支援及び重度化防止に向けた取組を進めている。 	
4	目標（事業内容、指標等）	
	(1) 「通いの場」の推進	
	お茶のみサロン事業（町内8カ所）の活動継続のために各サロン代表との意見交換会の実施や内容等の相談に応じ、後方支援をしながら事業を実施していく。	
	(2) 介護予防の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の主体的な活動に移行予定の事業については、参加者と相談をしながら自主活動に向けた準備を進める。また、関係者と現況や課題などの共通認識を持ち、利用者の拡大に向けて検討する。 ・参加者の健康状態を把握し介護予防としての効果を評価。各事業の見直し改善に活かす。 	
5	目標の評価方法	
	(1) 「通いの場」の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価の方法 <p>通いの場に参加する者や交流会での意見交換から、各地域での開催状況や参加者の様子を把握する。開催回数や参加者数を昨年度と比較し、増減の理由を分析する。</p>	
	(2) 介護予防の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価の方法 <p>参加者の基本チェックリストから健康状態を把握する。各事業の参加者の状態を確認し、事業の取組を評価。各事業の見直し・改善を図る。</p>	

取組と目標に対する自己評価シート

保険者名

小布施町

1 年度	令和6年度
------	-------

(実績評価)

2 実施内容	
(1) 「通いの場」の推進	
各サロン代表との意見交換会やサロン開催時に、参加者からの声を聴き実態把握を行った。その後、次年度に向けた計画や運営に関する相談に対応した。新規に1カ所のサロン立ち上げや運営について支援を行った。	
(2) 介護予防の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のサービス活動を行う団体の運営会議等に参加。利用者の情報共有、周知等後方支援を行った。 ・介護予防事業は、ポイント制度を活用し実施した。住民主体の事業に移行するように参加者との意見交換を行い、次年度の運営について検討した。教室参加者から基本チェックリストを取り、参加者の健康状態等状況を把握、各事業の評価を行った。 	
3 自己評価結果	
(1) 「通いの場」の推進	
○評価 【 B 】	
○理由(根拠となる指標、アンケート結果等)	
昨年度と比較すると新規地区が立ち上がり、前年度と比較し全体の参加人数が約10%増加した。 新規参加者が増えない課題が残る。	
(2) 介護予防の推進	
○評価 【 B 】	
○理由(根拠となる指標、アンケート結果等)	
住民主体の事業に移行するために参加者と意見交換をしながら準備が進められた。参加者の健康状態の把握、評価ができていない事業が残っている。	
4 県の支援に対する評価、求める支援	
(1) 「通いの場」の推進	
○評価 【 B 】	
○理由・求める支援等	
研修会等を通して、課題解決や推進に向けた支援を引き続きお願いしたい。	
(2) 介護予防の推進	
○評価 【 B 】	
○理由・求める支援等	
研修会等を通して、課題解決や推進に向けた支援を引き続きお願いしたい。	
5 課題と対応策	
(1) 「通いの場」の推進	
参加者の高齢化、代表者への負担により、定期的な開催が難しくなる場が出てくることが懸念される。各サロン等の実施状況の把握を随時行い、活動内容の相談・支援を行い、サロン交流会等を実施することで、活動継続に向けた支援を行っていく。	
(2) 介護予防の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・行政主体では、人員不足や要件があり事業が推進していかない。柔軟性のある住民主体の運営の活動になるよう参加者と相談しながら検討していく。 ・一般介護予防事業については、参加者の健康状態の把握、評価ができていない事業が残っているため、基本チェックリストから参加者の状況を把握し、分析を行い事業の評価を行う。 	